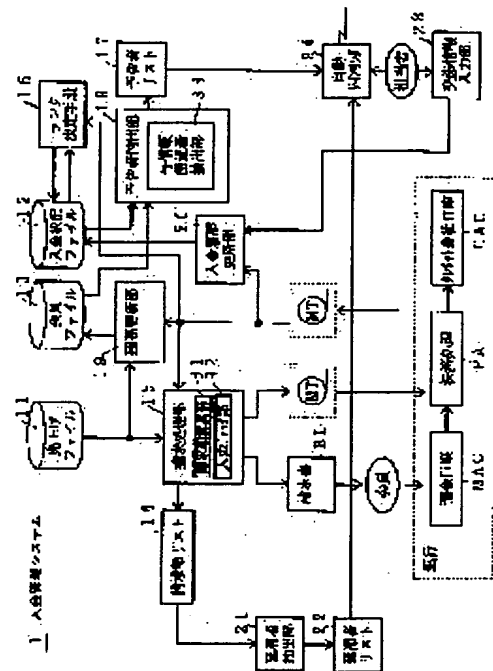


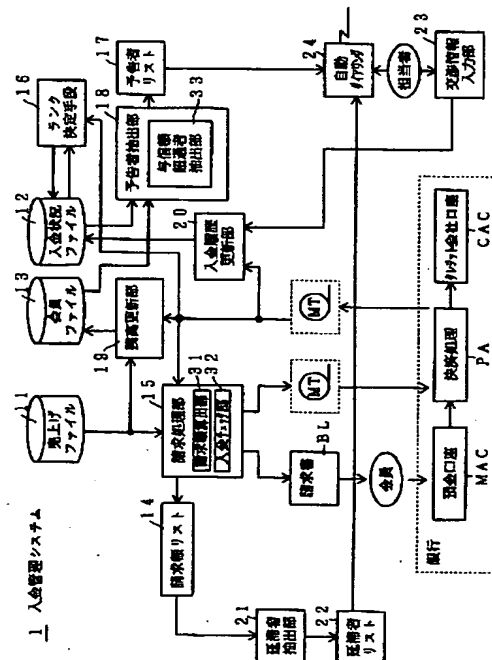
(11)Publication number : 08-315022  
(43)Date of publication of application : 29.11.1996

(21)Application number : 07-118584 (71)Applicant : FUJITSU LTD  
(22)Date of filing : 17.05.1995 (72)Inventor : YOSHIDA ATSUSHI

Previous notice operation is executed based upon the list 17. On a fixed date, settlement processing is executed and a delaying member's list 22 recording red members is prepared by referring to the payment contents of the list 14. Dunning operation is executed based upon the list 22.



(11)特許出願公開番号



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】顧客毎の売上げを記録する売上げファイルと、顧客毎の入金履歴情報を記録する入金状況ファイルと、顧客毎のクレジット残高を記録する顧客管理ファイルと、顧客毎の単位期間の請求額を記録する請求額リストと、前記売上げファイル及び前記顧客管理ファイルに基づいて単位期間の請求額を計算し、前記請求額リストに記録するための請求額算出手段と、前記請求額リストに記録された請求額の入金の有無をチェックし、その結果を当該請求額リストに記録するための入金チェック手段と、前記入金状況ファイルに記録された入金履歴情報に基づいて、入金実績についての実績ランクを決定するランク決定手段と、単位期間の請求額の決済に先立って入金の手続きを行うべき顧客を記録する予告者リストと、前記実績ランクを参照して入金実績の悪い顧客を抽出して前記予告者リストに記録するための予告者抽出手段と、を有してなることを特徴とする入金管理システム。

【請求項 2】前記顧客管理ファイルには、クレジット残高の最高限度額である与信額が記録されており、前記予告者抽出手段には、前記クレジット残高が前記与信額を越えている顧客を抽出して予告者リストに記録するための与信額超過者抽出手段が設けられてなる、請求項 1 記載の入金管理システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、例えばクレジットカードなどによる信用取引に関する入金管理システムに関する。

【0002】クレジットカードを利用して代金の支払いを行う信用取引において、利用代金の回収の効率を向上させることがクレジット会社にとって極めて重要であり、システムが成立するための基本である。そのため、クレジット会社において、利用代金の滞納者に対して電話による支払いの督促が行われている。利用代金の入金決済は、通常、銀行振り込み又は郵便振り込みによって行われており、入金約定日が一時に集中しているため、督促業務は一時期に集中することとなる。督促業務を効率良く行って回収不能債券を減少させるための入金管理システムが望まれている。

## 【0003】

【従来の技術】従来の信用取引における入金管理システムでは、入金の延滞が確定した段階で督促業務を実施するようになっている。

【0004】すなわち従来の入金管理システムでは、月締めで各会員についてのクレジット残高の請求書が発行

され、その請求書に対応して、約定日に各会員の預金口座からクレジット残高が引き落とされる。預金口座の残高不足によって引き落としができなかった会員については、引き落としが不可となった時点でその会員（「レッド会員」ということがある）のリストが作成され、作成されたリストに基づいて電話による督促が行われる（特開平 2-53180 号）。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来の入金管理システムでは、入金の延滞が確定した段階でリストが作成され、それによって電話督促の対象者が決定され、督促業務が実施されるので、督促業務を極めて短期間で実施する必要があった。

【0006】すなわち、例えば、前月分の利用金額を確定して請求書を発行するのが当月の 10 日であるとし、入金の約定日が当月の 20 日であるとする、20 日を過ぎた後からその月末又は次月の初めまでに督促業務を行い且つそれによる入金の確認を行う必要がある。そのため、督促業務は、数日間という短期間内に、大量の人員を投入して人海戦術で行う必要があり、業務の平準化という点から大きな問題があり業務形態として極めて良くなかった。

【0007】また従来の入金管理システムにおいては、入金延滞が確定したレッド会員に対する督促業務が行われるのであり、したがって入金延滞を低減させるものではなく、所詮対処療法的なアプローチに過ぎないものであった。

【0008】本発明は、上述の問題に鑑みてなされたもので、業務の平準化を図ることが可能であり、且つ入金延滞を低減させることの可能な入金管理システムを提供することを目的とする。

## 【0009】

【課題を解決するための手段】請求項 1 の発明に係る入金管理システムは、顧客毎の売上げを記録する売上げファイルと、顧客毎の入金履歴情報を記録する入金状況ファイルと、顧客毎のクレジット残高を記録する顧客管理ファイルと、顧客毎の単位期間の請求額を記録する請求額リストと、前記売上げファイル及び前記顧客管理ファイルに基づいて単位期間の請求額を計算し、前記請求額リストに記録するための請求額算出手段と、前記請求額リストに記録された請求額の入金の有無をチェックし、その結果を当該請求額リストに記録するための入金チェック手段と、前記入金状況ファイルに記録された入金履歴情報に基づいて、入金実績についての実績ランクを決定するランク決定手段と、単位期間の請求額の決済に先立って入金の手続きを行うべき顧客を記録する予告者リストと、前記実績ランクを参照して入金実績の悪い顧客を抽出して前記予告者リストに記録するための予告者抽出手段と、を有してなる。

【0010】請求項 2 の発明に係る入金管理システムに

において、前記顧客管理ファイルには、クレジット残高の最高限度額である与信額が記録されており、前記予告者抽出手段には、前記クレジット残高が前記与信額を越えている顧客を抽出して予告者リストに記録するための与信額超過者抽出手段が設けられてなる。

#### 【0011】

【作用】本発明における入金管理システムの作用及び操作内容を、図1乃至図7を参照し、図8に示すフローチャートに基づいて説明する。

【0012】例えば会員がクレジットカードを利用して取り引きを行うことによって（＃1）、1箇月毎に売上げファイル11が更新される（＃2）。前月分の売上額SUが確定され、それに残高BAを加算して今月の請求額BIが算出され、請求額リスト14への記録、請求書BLの印刷、磁気テープMTへの記録などの請求処理が行われる（＃3）。

【0013】会員ファイル13及び入金状況ファイル12が参照され、1箇月間の請求額の決済に先立って入金の予告を行うべき会員（「イエロー会員」ということがある）を記録した予告者リスト17が作成される（＃4）。作成された予告者リスト17に基づいて、イエロー会員に対する予告業務を行う（＃5）。

【0014】約定日において決済処理が行われ（＃6）、請求額リスト14の入金有無YNを参照してレッド会員を記録した延滞者リスト22が作成される（＃7）。作成された延滞者リスト22に基づいて、レッド会員に対する督促業務を行う（＃8）。

#### 【0015】

【実施例】図1は本発明に係る入金管理システム1を機能的に示すブロック図、図2は売上げファイル11の例を示す図、図3は入金状況ファイル12の例を示す図、図4は会員ファイル13の例を示す図、図5は請求額リスト14の例を示す図、図6は予告者リスト17の例を示す図、図7は入金管理システム1のハード構成の例を示す図である。

【0016】図1において、入金管理システム1は、売上げファイル11、入金状況ファイル12、顧客管理ファイルとしての会員ファイル13、請求額リスト14、請求処理手段としての請求処理部15、ランク決定手段としてのランク決定部16、予告者リスト17、予告者抽出手段としての予告者抽出部18、残高更新部19、入金履歴更新部20、延滞者抽出部21、延滞者リスト22、及び交渉情報入力部23などから構成されている。

【0017】売上げファイル11は、クレジット会員として登録された会員毎の売上げを記録するファイルである。図2に示すように、売上げファイル11には、会員の名前NM、利用月日DT、売上額（利用額）SUの項目が設けられている。図2の例では、4月分の売上げが記録されている。

【0018】入金状況ファイル12は、会員毎の入金履歴情報を記録するファイルである。図3に示すように、入金状況ファイル12には、会員の名前NM、ランクRA、履歴HSの項目が設けられている。

【0019】ランクRAは、会員の入金状況及び利用状況に応じて決定される。入金状況及び利用状況に対しては、延滞が1年に1回もなく優良であることを示す「R1」、延滞が1年に2回以下である「R2」、延滞が1年に3回以上である「R3」、回収不能となるおそれのあることを示す「R4」の4つのランクが設けられている。利用状況に対しては、クレジットの残高BAが与信額RLを越えたことを示す「E」のランクが設けられている。

【0020】履歴HSは、過去数カ月分の利用状況、入金状況、電話による予告及び督促の際の対応状況などを記録したものである。会員ファイル13には、図4に示すように、会員の名前NM、クレジットの残高BA、残高BAの最高限度額である与信額RLが記録されている。図示は省略したが、会員ファイル13には、各会員の住所、電話番号なども記録されている。

【0021】請求額リスト14は、1箇月を単位期間として各会員に対する請求額を記録するファイルである。請求額リスト14には、図5に示すように、会員の名前NM、当月の請求額BI、請求額BIに対する入金の有無を示す入金有無YNが記録されている。

【0022】請求処理部15には、請求額算出手段としての請求額算出部31及び入金チェック手段としての入金チェック部32が設けられている。請求額算出部31は、売上げファイル11に記録されている売上額SU及び会員ファイル13に記録されている残高BAに基づいて、今回の請求額BIを計算し、請求額リスト14の請求額BIに記録する。

【0023】入金チェック部32は、請求額リスト14に記録された請求額BIについて、会員からの入金があったか否かをチェックし、その結果を請求額リスト14の入金有無YNに記録する。入金有無のチェックには、銀行から返送されてきた磁気テープMTに記録されたデータを参照する。

【0024】請求処理部15は、各会員に対して、請求額リスト14と同じ内容の請求書BLを印刷するための処理を行い、またそのデータを磁気テープMTに記録するための処理を行う。印刷した請求書BLは各会員に郵送され、磁気テープMTは銀行に送られる。

【0025】銀行においては、送られてきた磁気テープMTに基づいて、約定日に各会員の預金口座MACから各請求額BIを引き落とし、クレジット会社の口座CACに入金するための決済処理PAを行う。決済処理PAの結果、つまり各会員について請求額BIが引き落とされたか否かを示すデータが磁気テープMTに記録され、入金管理システム1に返送される。

【0026】ランク決定部16は、入金状況ファイル1

2に記録された履歴HSに基づいて、入金状況のランクを決定し、ランクRAに記録する。予告者リスト17は、イエロー会員を記録したファイルである。つまり、入金状況のランクが「R2」「R3」「R4」である会員及び利用状況のランクが「E」である会員を、それぞれのランク毎に抽出したものである。予告者リスト17の内容は端末装置45の画面に表示され、必要に応じて用紙に印刷される。

【0027】予告者抽出部18は、入金状況ファイル12から、入金実績の悪い会員、すなわちランクが「R2」「R3」「R4」である会員を抽出して予告者リスト17に記録する。また、予告者抽出部18には、与信額超過者抽出手段としての与信額超過者抽出部33が設けられている。与信額超過者抽出部33は、会員ファイル13に記録された残高BAが与信額RLを越えている会員、つまりランクが「E」である会員を抽出し、予告者リスト17に記録する。

【0028】自動ダイアリング装置24は、予告者リスト17からのデータに基づいて、各イエロー会員に対して順次自動的に電話を掛ける。予告業務の担当者は、掛かった電話によって、今月分の請求額、引き落とし日などを会員に予告し、引き落としが可能なように預金口座の残高の確認を依頼し、また預金口座からの引き落としでない場合には約定日までに入金する約束を取り付ける。担当者は、これらの交渉の状況などを交渉情報入力部23から入力する。

【0029】予告のための電話を掛けるに当たって、ランクRAに応じて優先順位が決定される。例えば、ランクが「R4」の会員を最優先とし、「R3」「R2」「E」の順とする。

【0030】残高更新部19は、銀行から返送されてきた磁気テープMTに記録されたデータを参照して、会員ファイル13に記録されている残高BAを更新する。入金履歴更新部20は、同じく磁気テープMTに記録されたデータ、及び交渉情報入力部23から入力されたデータに基づいて、入金状況ファイル12に記録されている履歴HSを更新する。

【0031】延滞者抽出部21は、請求額リスト14の入金有無YNの記録に基づいて、引き落とし不可能などによって入金の無い会員を抽出し、延滞者リスト22を作成する。延滞者リスト22からのデータに基づいて、自動ダイアリング装置24は各会員に対して順次自動的に電話を掛ける。督促業務の担当者は、掛かった電話によって延滞している金額の入金を督促し、その交渉の状況などを交渉情報入力部23から入力する。

【0032】図7において、入金管理システム1のハードウェアは、処理装置41、磁気ディスク装置42、磁気テープ装置43、44、端末装置45、及びプリンタ装置46などから構成される。

【0033】磁気ディスク装置42には、売上げファ

イル11、入金状況ファイル12、会員ファイル13、請求額リスト14、予告者リスト17、延滞者リスト22などが格納される。磁気テープ装置43又は端末装置45から、会員の売上げについてのデータが入力される。端末装置45の画面に、種々のファイル及びリストの内容その他の情報を表示することができる。磁気テープ装置44によって、銀行との間でデータの受渡しを行うための磁気テープMTに請求処理の結果のデータが記録され、又は決済処理の結果のデータが読み出される。プリンタ装置46によって請求書BLが印刷される。処理装置41によって、請求処理部15、ランク決定部16、予告者抽出部18、残高更新部19、入金履歴更新部20、延滞者抽出部21、請求額算出部31、入金チェック部32、与信額超過者抽出部33などの機能が実現される。また、図示は省略したが、処理装置41は他のコンピュータと通信回線によって接続されており、通信回線を介してもデータの入出力が行われる。

【0034】次に、入金管理システム1における処理又は操作内容を、図8に示すフローチャートを参照して説明する。会員がクレジットカードを利用して取り引きを行うことによって（#1）、1箇月毎に売上げファイル11が更新される（#2）。前月分の売上額SUが確定され、それに残高BAを加算して今月の請求額BIが算出され、請求額リスト14への記録、請求書BLの印刷、磁気テープMTへの記録などの請求処理が行われる（#3）。

【0035】会員ファイル13及び入金状況ファイル12を参照して、イエロー会員を記録した予告者リスト17が作成される（#4）。作成された予告者リスト17に基づいて、イエロー会員に対する予告業務を行う（#5）。例えば、請求書BLの発行が当月の10日であるとし、入金約定日が当月の20日であるとする、と、予告業務は10日を過ぎた後から20日の前までの間に行う。

【0036】約定日において決済処理が行われ（#6）、請求額リスト14の入金有無YNを参照してレッド会員を記録した延滞者リスト22が作成される（#7）。作成された延滞者リスト22に基づいて、レッド会員に対する督促業務を行う（#8）。督促業務は、例えば、20日を過ぎた後から次月の初めまでの間に行う。

【0037】上述の実施例によると、ランク決定部16により各会員のランクRAが自動的に決定されて入金状況ファイル12に記録され、それに基づいて予告者抽出部18によってイエロー会員が自動的に抽出され、容易に且つ適切なタイミングで予告者リスト17が作成されることとなる。予告者リスト17に基づいて予告業務を行うことによって、約定日における引き落とし不可能者が減少し、これによって入金延滞者が減少して入金率が向上する。したがって、レッド会員が減少し、督促業務

の量及びそのコストが軽減されることとなり、しかも回収不能債券の減少が期待される。

【0038】また、従来において一時期に督促業務のみを行っていた人材に対して、他の時期に予告業務を行わせることができ、業務の平準化を図って人材の有効活用を図ることができる。

【0039】さらに、イエロー会員であったか否かのデータを、レッド会員であったか否か及びランクRAの内容などとともに各種の情報を解析することによって、延滞している金額を支払う意思がないと思われるブラック会員を早く特定することができ、回収不能債券を最小限度に抑えることが可能となる。

【0040】上述の実施例において、自動ダイアリング装置24によって自動的に電話を掛けるようにしたが、担当者が手動でダイヤリングを行うようにしてもよい。単位期間を1箇月としたが、1週間、2週間、2箇月などでもよい。入金状況についてのランクRAを4段階としたが、3段階以下又は5段階以上としてもよい。利用状況についてのランクRAを2段階以上としてもよい。各ファイル又はリストの構成、内容は適宜変更することができる。その他、入金管理システム1の構成、処理内容、処理順序などは、本発明の主旨に沿って適宜変更することができる。

【0041】

【発明の効果】請求項1及び請求項2の発明によると、イエロー会員が自動的に抽出されて予告者リストが作成されるので、予告者リストに基づいて容易に且つ適切なタイミングで入金の予告を行うことができる。入金の予告業務を行うことにより業務の平準化を図ることが可能となり、且つ入金延滞を低減させることが可能となる。\*30

\*【0042】請求項2の発明によると、クレジット残高が与信額を越えている顧客を自動的に抽出し、そのようなイエロー会員に対しても容易に且つ適切なタイミングで入金の予告を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る入金管理システムを機能的に示すブロック図である。

【図2】売上げファイルの例を示す図である。

【図3】入金状況ファイルの例を示す図である。

【図4】会員ファイルの例を示す図である。

【図5】請求額リストの例を示す図である。

【図6】予告者リストの例を示す図である。

【図7】入金管理システムのハード構成の例を示す図である。

【図8】入金管理システムにおける処理及び操作内容を示すフローチャートである。

【符号の説明】

1 入金管理システム

11 売上げファイル

12 入金状況ファイル

13 会員ファイル（顧客管理ファイル）

14 請求額リスト

15 請求処理部（請求処理手段）

16 ランク決定部（ランク決定手段）

17 予告者リスト

18 予告者抽出部（予告者抽出手段）

31 請求額算出部（請求額算出手段）

32 入金チェック部（入金チェック手段）

33 与信額超過者抽出部（与信額超過者抽出手段）

【図2】

売上げファイルの例を示す図

11 売上げファイル

NM	DT	SU
名前	月日	売上額
AA	4/3	75.000
	4/14	145.000
BB	4/10	87.000
CC	4/6	160.000
	4/8	85.000
	4/20	180.000
DD	4/8	5.000

【図3】

入金状況ファイルの例を示す図

12 入金状況ファイル

NM	RA	HS
名前	ランク	履歴
AA	R1	3月 68.000円 68.000円 2月 66.000円 96.000円
BB	R4	3月 45.000円 0円 1月 62.000円 0円 要注意
CC	R1	E 3月 175.000円 175.000円 2月 78.000円 78.000円
DD	R1	3月 120.000円 120.000円 2月 5.000円 5.000円



【図4】

会員ファイルの例を示す図

13 会員ファイル

NM	RL	BA
名前	与信額	残高
AA	500.000	220.000
BB	300.000	132.000
CC	30.000	425.000
DD	30.000	50.000

【図5】

請求額リストの例を示す図

14 請求額リスト

NM	BI	YN
名前	請求額	入金有無
AA	4月分 220.000	
BB	4月分 132.000	
CC	4月分 425.000	
DD	4月分 50.000	

【図6】

予告者リストの例を示す図

17 予告者リスト

ランク E

ランク R2

ランク R3

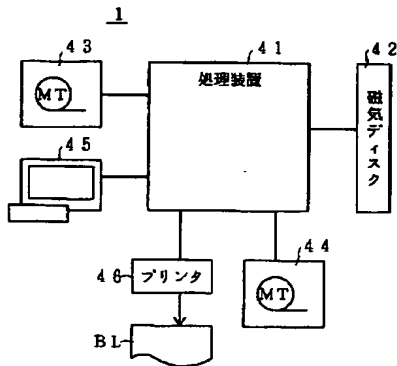
ランク R4

NM

名前	電話番号
BB	00-0000
XX	00-0000
ZZ	00-0000

【図7】

入金管理システムのハード構成の例を示す図



【図8】

入金管理システムにおける処理及び  
操作内容を示すフローチャート